

第 54 回複素環化学討論会 日程表

1 日目 10 月 9 日(木)		2 日目 10 月 10 日(金)		3 日目 10 月 11 日(土)	
受付(8:10-)		受付(8:10-)		受付(8:10-)	
開会挨拶(8:55-)		8:40	20-01	8:40	30-01
9:00	10-01	9:00	20-02	9:00	30-02
9:20	10-02	9:20	20-03	9:20	30-03
9:40	10-03	9:40	20-04	9:40	30-04
10:00	10-04	10:00	20-05	10:00	30-05
10:20	10-05	休憩(10:20-10:30)		休憩(10:20-10:30)	
休憩(10:40-10:50)		10:30	20-06	10:30	30-06
10:50	10-06	10:50	20-07	10:50	30-07
11:10	10-07	11:10	20-08	11:10	30-08
11:30	10-08	11:30	20-09	11:30	30-09
11:50	10-09	11:50	20-10	11:50	30-10
昼食(12:10-13:00)		昼食(世話人会) (12:10-13:00)		次回アナウンス(12:10-12:20)	
				昼食(12:20-13:10)	
ポスター(13:00-14:00)		ポスター(13:00-14:00)		ポスター(13:10-14:10)	
休憩(14:00-14:05)		休憩(14:00-14:05)		休憩(14:10-14:15)	
14:05	10-10	14:05	20-11	14:15	30-11
14:25	10-11	14:25	20-12	14:35	30-12
14:45	10-12	14:45	20-13	14:55	30-13
15:05	10-13	15:05	20-14	15:15	30-14
15:25	10-14	15:25	20-15	15:35	30-15
15:45	10-15	15:45	20-16	15:55	30-16
16:05	10-16	16:05	20-17	休憩(16:15-16:25)	
休憩(16:25-16:35)		休憩(16:25-16:35)		16:25	30-17
16:35	10-17	16:35	20-18	16:45	30-18
16:55	10-18	16:55	20-19	17:05	30-19
17:15	10-19	17:15	20-20	17:25	30-20
17:35	10-20	17:35	20-21	17:45	30-21
17:55	10-21	17:55	20-22	閉会挨拶(18:05-)	
18:15	10-22	18:15	20-23		
18:35	10-23	懇親会(19:00-)			

撮影・録画に関する注意

本討論会でのスライド、ポスターの撮影・録画はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

第 54 回 複素環化学討論会講演プログラム

◇口頭発表(計 20 分:講演 15 分・討論 4 分・PC 接続, 交代 1 分)

1 鈴:13 分、2 鈴:15 分(発表終了)、3 鈴:19 分(討論終了)

◇ポスター発表(各 60 分)

1 日 目 10 月 9 日(木)

Session 1-1 9:00~10:40 口頭発表 座長:杉田 和幸

- 10-01 Collective Total Synthesis of Agarofurans via Site-Selective Acylation
(The Univ. of Tokyo, Graduate School of Pharmaceutical Sciences) ○Wentao Wang・Toshiya Nagai・Koichi Hagiwara・Masayuki Inoue
- 10-02 セレン触媒を用いたエナンチオ選択的ラクタム化反応と Diaporisoindole A の全合成
(¹千葉大院薬・²千葉大理・³理研 PRI) ○山本大貴 ^{1,3}・山崎駿 ²・橋本卓也 ^{1,3}
- 10-03 レプトリングビヤリド類の全合成研究
(中央大理工) ○岡村祐基・村田佳亮・不破春彦
- 10-04 環状 desmosine ペプチドの isoChichibabin ピリジニウム合成研究
(上智大理工) ○大石果歩・臼杵豊展
- 10-05 位置選択的 Friedel-Crafts 反応による 4-ヒドロキシベンゾフラン・インドール合成
(千葉大院薬) ○栗原崇人・Sukit Chonradeenitchakul・弓場帆乃果・金木礼仁・三原悠慎・根本哲宏

Session 1-2 10:50~12:10 口頭発表 座長:南雲 紳史

- 10-06 C-C 切断型のアライン発生を経るベンゾフラン合成法の開発
(東理大院先進工) ○星幸崇・吉田優
- 10-07 超原子価ヨウ素カップリング/環化反応によるジベンゾアゼピノン合成
(¹立命館大院薬・²立命館大総研) ○宮本直樹 ¹・笠井彩理純 ¹・菊嶋孝太郎 ¹・北泰行 ²・土肥寿文 ^{1,2}
- 10-08 トリアジニル基による炭素-ヘテロ原子結合の活性化を鍵とするカルボニル化合物の合成
(¹長崎大水産・²大分大理工・³高知工大理工) ○平尾翔太郎 ¹・高橋徹 ²・原田拓典 ²・西脇永敏 ³・大賀恭 ²
- 10-09 酸化的環化付加と脱水素的芳香族化によるアルケンからトリアゾリウム塩の合成
(¹千葉工大理工・²千葉工大工・³山口大院創成科学) ○山川一仁 ¹・小原優輝 ¹・住谷陽輔 ³・王天資 ¹・緒方翔輝 ²・原口亮介 ¹

ポスター発表 (1P-01~42) 13:00~14:00

- 1P-01 アズレン縮環型イソインジゴ類縁体の合成と特性評価
(¹弘前大院理工・²日大工) ○内山いくみ ¹・関口龍太 ¹・庄子卓 ²・川上淳 ¹・伊東俊司 ¹
- 1P-02 ピリジルエチニルケトンを出発物質に用いたアザ-ピラノインドール-1 オンの合成
(三重大院工) ○森村真帆・切通陽万里・山北莉子・川村美空・八谷巖
- 1P-03 α -ジボリルアリルアニオンを用いたアルデヒドおよびケトンの 3 炭素ホモロゲーションによる α,β -不飽和ケトンの合成

(¹岡山大院自然科学・²岡山大工) ○梶井里花子¹・高柳ひろ¹・森愛実²・奥直樹¹・山崎賢¹・三浦智也¹

1P-04 簡便な pyrido[1,2-a]pyrimidin-2-one 誘導体の新規合成法

(¹工学院大先進工・²安田女大薬) 岩崎修太¹・○河野風沙²・大山透¹・大野修¹・松野研司²

1P-05 2-オキサ-5-チアピシクロ[2.2.2]オクタン骨格を糖部構造とするピリミジンヌクレオチドを導入したオリゴ核酸の合成

(¹名大院創薬・²COMIT) ○伊藤海結¹・松本優¹・横田なつ希¹・廣明秀一^{1,2}・兒玉哲也^{1,2}

1P-06 2-置換-3-アミノピペリジンの合成：アルカロイド骨格への展開

(¹神奈川工大・²神奈川工大院工) ○野田毅¹・田村友²

1P-07 Amurensin M の全合成研究

(¹千葉大院薬・²東大院薬) ○位寄愛美¹・中島誠也²・根本哲宏¹

1P-08 ポルフィリンの会合挙動に与える深共晶溶媒の効果

(¹大分大院理工・²近大工・³大分大理工) ○長尾佑斗¹・北岡賢²・信岡かおる³

1P-09 Reissert-Henze 反応による 3-arylisoquinoline *N*-oxide の反応性について

(¹福山大薬・²福山大共同利用セ・³横浜薬科大) ○水野翔太¹・西山卓志¹・秦季之¹・稗田雄三^{1,2}・波多江典之³・町支臣成¹

1P-10 陽極酸化によるエンド型環化を経るカルバゾール合成

(岡山大院自然) ○森下和香・佐藤英祐・菅誠治

1P-11 ドナー・アクセプター型 2-アゼチンの[2+2]合成と発光特性

(東京科学大物質理工) ○森崎聖也・安部陸太郎・伊藤繁和

1P-12 ヒダントイン誘導体の新しい 5 員環構築反応と立体化学の検討

(神奈川工大工) 山口淳一・○小林果梨・久保田マリナ・西野隼・柴田健斗

1P-13 光誘起電子移動機構に基づく CO₂ 回収剤の開発

(神戸学院大薬) ○塩田恵太郎・篠原利枝・河野さやか・稲垣冬彦・村上遼

1P-14 機械学習により潜在空間から見出されたイミダゾ[4,5-b]ピリジンおよびイミダゾ[1,2-b]ピリダジン誘導体の合成と EGFR への結合評価

(¹京大院農・²理研 CSRS・³東京科学大情報理工・⁴北里大未来工) ○高木巧斗¹・岡本真也²・出井晶子²・吉田稔²・坂野晃³・大上雅史³・榊原康文⁴・塚野千尋¹

1P-15 炭素-窒素軸不斉型ヨードアニリン触媒によるエナンチオ選択的分子内 α-アミノ化反応

(千葉大院理) ○丸島隆誠・森山克彦

1P-16 三成分複合体を利用したキノリン類の光化学的還元法の開発

(岐阜薬大) ○安井海成・山口英士・伊藤彰近

1P-17 酸素架橋三環性を有する Toxicodenane C の全合成研究

(阪公大院理) ○魏銘・鶴田智暉・西川慶祐・森本善樹

1P-18 イミダゾリジノン誘導体の Norrish-Yang 環化反応

(¹ビューティ&ウェルネス専門職大・²お茶女大院人間文化) ○山田真二¹・宮下佳穂子²・中島華子²・岩田真歩²

1P-19 複素環部位をもつパンテイン誘導体の合成と vanin-1 酵素阻害活性評価

(¹大阪医薬大薬・²姫路獨協大薬・³大阪医薬大医) ○池田秀吾¹・岩見優輝¹・細畑圭子²・金徳男¹・葉山登¹・米山弘樹¹・高井真司¹・宇佐美吉英¹

1P-20 スピロシクロプロパンの開裂一環化反応を用いるベンゾチオフエン合成法の開発

(¹ 京都薬大・² 富山大薬) ○南部寿則 ^{1,2}・瀬戸優希 ²・大貫悠太 ²・友原啓介 ¹・矢倉隆之 ²

1P-21 フラン Diels–Alder 反応を鍵としたナキテルピオシン CDE 環の合成

(¹ 富山県大工・² 富山県大生医工研セ) ○西川日葵 ¹・松雪洋恵 ¹・深谷圭介 ^{1,2}・占部大介 ^{1,2}

1P-22 デスモシンおよびイソデスモシン同位体標識体の isoChichibabin/Chichibabin ピリジニウム合成

(上智大理工) ○近藤沙季・広瀬美香・荒木アリサ・臼杵豊展

1P-23 Scandine の合成研究

(千葉大院薬) ○福岡颯・山次健三・荒井秀

1P-24 キラルジアミンを用いた 2-アリルオキシメチルピリジン類縁体のエナンチオ選択的[2,3]-Wittig 転位

(同志社女大薬) ○川崎みどり・大坪由梨佳・八塚研治・白井隆一

1P-25 光反応による環状ペルフルオロスルホニルアミドの環縮小反応

(山口大院創成科学) ○渡邊さくら・村松憲伸・川本拓治

1P-26 ヒ素カチオン種を利用したベンゾアルソール誘導体の合成

(大阪大院工) ○岩本洋樹・西村和敏・安井孝介・平野康次

1P-27 アミドの *N*-ブロモ化を経由したペプチド側鎖炭素骨格の改変

(京大院薬) ○森山仁尊・南條毅・竹本佳司

1P-28 キナゾリンを構成要素とする酸素架橋型大環状オリゴマー群の合成と物理化学的特性

(¹ 慶大薬院・² 微化研) ○竹内伶旺 ¹・小林透威 ¹・熊谷直哉 ^{1,2}

1P-29 アミド結合を有するオバレン類似体の合成と性質

(¹ 成蹊大理工・² 昭和薬大・³ 愛媛大院理工) ○魚田和希 ¹・沖光脩 ¹・川幡正俊 ²・石橋千英 ³・横山明弘 ¹

1P-30 Boscartin 類の保護基を用いない網羅的不斉全合成研究

(¹ 星薬大薬) ○杉田和幸 ¹・加茂翔伍 ¹・松澤彰信 ¹・白岩潤也 ¹・笠松暁輝 ¹・幸内大輔 ¹・相原広杜 ¹・宮崎愛梨 ¹・新里美咲 ¹

1P-31 フェノール類の構造多様性を活かした π 拡張ピリリウムイオンの網羅的合成

(千葉工大理工) ○鶴田結子・竹越大貴・原口亮介

1P-32 合成的シュードウリジル化を志向したウリジンの酸化的塩基放出反応とその機構解析

(東大院薬) ○小堀陽貴・山根三奈・金井求

1P-33 ブレビスルセナール-F の AB 環部の合成研究

(¹ 岡山大院自然科学・² 岡山大基礎研) ○竹谷奏太郎 ¹・田中健太 ²・門田功 ¹・高村浩由 ¹

1P-34 イリド可視光レドックス触媒による α -ブロモカルボニル化合物とアルケン類の反応

(信州大工) ○大野江陽・戸田泰徳

1P-35 NIR-II 領域の光利用と適応反応の拡張を志向した架橋キサンテン型光レドックス触媒の開発

(富山大薬) ○尾山雅弥・谷岡卓・陳詩雨・山田強・松谷裕二

1P-36 ビス複素環化合物における遠隔ハロゲンダンス反応に関する研究

(大阪大谷大薬) ○前崎直容・広川美視・有光健治・池川由里子・柏原泰雅・小須田みずき・三浦愛里・野村よりこ・伊藤壱真

1P-37 メチルヨードンを用いた第三級スルホンアミドの活性化によるスルホニルフルオリドの合成

(¹ 京大院理・² 北大院薬) ○渡邊貴之 ¹・勝田里菜 ²・東田皓介 ¹・吉野達彦 ¹・松永茂樹 ^{1,2}

1P-38 光学分割を用いた swainsonine 誘導体の両対掌体の合成と結核治療薬開発への応用

(¹ 富山大院医薬理工・² 富山県大学・³ 富山大付属病院薬剤部) ○笠松直人 ¹・岡田卓哉 ¹・川崎正志 ²・加藤敦 ³・豊岡尚樹 ¹

- 1P-39 GIAO NMR 計算と DP4+解析によるアロタミド A および B の立体配置の帰属
(¹中大理工・²早大院理工・³筑波大数理物質) ○立本今日子¹・村田佳亮¹・中尾洋一²・吉田将人³・不破春彦¹
- 1P-40 アミド結合をイミデートに変換する反応を利用した 1,5,9-トリアザコロネン誘導体の合成
(¹成蹊大理工・²昭和薬大) ○吉田真優¹・沖光脩¹・川幡正俊²・横山明弘¹
- 1P-41 アルキニルイミンのドミノ共役付加反応を用いた多置換 δ-ラクタムの合成
(三重大院工) ○西村仁志・林稜也・森口綜太・山田大智・八谷巖
- 1P-42 DMF をバルク還元剤として用いたベンゾチアゾール類の効率的合成法の開発
(武庫川女大薬) ○阿部将大・イミンジ・藤田真希・水上玲穂・稲本浄文

Session 1-3 14:05~15:25 口頭発表 座長：岡野 健太郎

- 1O-10 アンモニオアミジル基を有する新規キサンテン型蛍光色素の合成
(¹金沢大院医薬保・²神戸学院大薬) ○村谷大輝¹・新井貴就¹・松山佳加¹・国嶋崇隆^{1,2}・藤田光¹
- 1O-11 分子認識による生体内ポリアミンの蛍光検出試薬の開発
(京府大院生命環境) ○寺田彪流・割石萌々夏・塚本彩花・新ゆかり・今吉亜由美・椿一典
- 1O-12 光応答性を示すアクリジン骨格を持つ新規アザヘリセン誘導体の合成
(京大院人環) ○廣戸聡・中條萌絵子
- 1O-13 ベンゾチアゾール骨格をコアとした水素結合型発光性錯体の合成
(茨城大工) ○大島伊吹・福元博基・盛田雅人

Session 1-4 15:25~16:25 口頭発表 座長：難波 康祐

- 1O-14 3 位窒素原子上にオルト-ヒドロキシフェニル基を有する 4-キナゾリノン誘導体のアトロプ異性と抗 MRSA 活性
(¹芝浦工大工・²東京薬大薬) ○王煜翔¹・楊玥¹・中村洸友¹・北川理¹・金子寛²・矢内光²・中南秀将²・佐藤梓²
- 1O-15 HFDPC 増殖促進活性を示すインドール S, O-ビスデスモシドの合成とその活性評価
(¹近畿大薬・²富山大和漢研・³近畿大薬総研) ○高島克輝¹・鈴木璃子¹・萬瀬貴昭²・石川文洋¹・森川敏生³・田邊元三^{1,3}
- 1O-16 Spliceostatin A 誘導体の設計および合成：アセトキシ基部位の構造活性相関研究
(¹阪大院薬・²阪大 CAMaD・³群大未来先端) ○眞下怜汰¹・吉川祐介¹・佐古真¹・中山淳¹・金田安史²・二村圭祐³・有澤光弘¹

Session 1-5 16:35~17:55 口頭発表 座長：山田 健一

- 1O-17 三環性トリアゾールの骨格変換による官能性ピラゾール誘導体の創製と展開
(東京科学大生命理工) ○山口功貴・田中啓翔・東屋玲奈・小林一貴・秦猛志
- 1O-18 電子豊富な新規なジベンゾ[1,2]ジチインの合成とその酸化還元特性
(¹山口大工・²愛媛大工) ○上村明男¹・白惣亮平¹・清永将平¹・住谷陽輔¹・御崎智也²・御崎洋二²
- 1O-19 Brønsted 酸添加により可逆的に凝集誘起発光するアミノ基修飾キナゾリン系色素の開発

(山梨大院総研) ○小中澤優貴・山本結生

- 10-20 N-ホスフィンオキシド置換環状カルベンを配位子とする W(0)錯体の合成と反応性
(¹ 阪大院工・² 阪大 CFi) ○原田亮介 ¹・星本陽一 ^{1,2}

Session 1-6 17:55～18:35 口頭発表 座長：南部 寿則

- 10-21 光触媒による D-糖の C5 位エピマー化を介する L-糖への直接変換法の開発
(¹ 阪大薬・² 阪大院薬・³ 京大 CPiER-DSR) ○松浦圭佑 ¹・澤間善成 ^{2,3}
- 10-22 独立制御型二軸回転機構の導入による環状ペプチドの多元的配座変換制御
(北大院薬) ○赤羽泰知・勝山彬・市川聡
- 10-23 光反応を利用した C-アシルグリコシドの新規合成法開発
(九大院薬) ○的場博亮・平井剛

2 日 目 10 月 10 日 (金)

Session 2-1 8:40~10:20 口頭発表 座長：草間 博之

- 2O-01 ボールミルを用いた Horner–Wadsworth–Emmons 反応による重水素化オレフィンの合成
(岐阜薬大) ○富田直仁・繁田堯・佐治木弘尚・井川貴詞
- 2O-02 ニトリルオキシドとジアゾ化合物による複素環合成
(金沢大院自然科学) ○岩本遼・菅拓也・添田貴宏・宇梶裕
- 2O-03 水素結合複合体の電解酸化によるスルホンアミジルラジカルの発生：スルタム合成への応用
(岡山大院自然) ○奥村恭之・光藤耕一・菅誠治
- 2O-04 2,3 位無置換ボラインデンの合成と物性
(神戸大院理) ○村上賢・松原亮介・林昌彦
- 2O-05 ピラゾリウムイリドの[3+2]付加環化反応によるヘテロ環合成とその応用
(¹京工繊大院工芸・²茨城大院理工) ○津森達也¹・安井基博¹・盛田雅人²・山田重之¹・今野勉¹

Session 2-2 10:30~11:50 口頭発表 座長：長友 優典

- 2O-06 ビスオキサザボロリジノンの合成と反応
(山口大院創成) ○野尻貴樹・林充樹・松井潤太・岡村俊孝・西形孝司
- 2O-07 不斉分子内環化反応に基づく 2,2-二置換-2,3-ジヒドロ-4-キノロンの合成
(名工大院工) ○安達英徳・寺島悠人・川村稜於・松田陽一郎・安川直樹・中村修一
- 2O-08 金属抽出剤の開発を志向したアルキル化フェナントロリンの合成
(¹神戸大膜セ・²神戸大院工) ○杉田翔一¹・岡野健太郎^{1,2}・森敦紀^{1,2}
- 2O-09 脱芳香族的 ipso-ヨード環化を基軸とする複素環構築
(富山大薬) ○小山彩保理・沖津貴志・斎藤ひかる・矢倉隆之
- 2O-10 ヘテロアラインのプロトン化による位置選択性制御法の開発
(¹明治薬大・²昭和薬大) ○伊藤元気¹・小田竜平¹・三坂里奈¹・守屋天翔¹・橋本善光²・樋口和宏¹・杉山重夫¹

ポスター発表 (2P-01~43) 13:00~14:00

- 2P-01 金触媒を利用した *cis*-2,6-二置換テトラヒドロピラン類の立体選択的合成
(昭和薬大) ○千秋妃美・山下大智・橋本善光・田村修・森田延嘉
- 2P-02 近赤外光吸収を示すアズレン縮環型トリプタンスリン類縁体の合成と特性評価
(¹弘前大院理工・²日大工) ○渡部翔¹・内山いくみ¹・関口龍太¹・庄子卓²・川上淳¹・伊東俊司¹
- 2P-03 Indigo の再設計による新規色素分子の合成
(¹千葉大院薬・²東大院薬・³千葉大真菌医セ) ○矢澤智弘¹・中島誠也²・高屋明子^{1,3}・根本哲宏¹
- 2P-04 4,5-ジブロモイミダゾールのアミノ化—分子内環化による π —拡張カルバゾール類縁体の合成
(岐阜大院自然科学) ○濱地桃花・石田健将・芝原文利
- 2P-05 2-アジドアクリルアミド部位を 2 ヶ所有する対称型プラットフォーム分子の開発
(東理大院先進工) ○小田切佳之・濱田真代・吉田優

- 2P-06 キラルブレンステッド酸を用いた不斉アリル化を鍵とする bastimolide A のスケラブル合成
(東北大院理) ○梅宮茂伸・品川尚弥・藤本藍介・寺田眞浩
- 2P-07 高度にフッ素化されたカチオン性ホスフィンの開発
(千葉工大院工) ○中原瑛梨奈・櫻井佳那・高井慎太郎・原口亮介
- 2P-08 Synthetic Study of Pyridinophane Cyclic Desmosine
(Sophia Univ., Faculty of Science and Technology) ○Yuchen Yao・Risa Uehara・Toyonobu Usuki
- 2P-09 光活性化二酸化塩素処理によるパークロロエチレンからのトリクロロアセトアミドの合成
(¹ 阪大院薬・² 阪大先端学際研・³ 阪大 CN 連携) ○谷口玄汰 ¹・板橋勇輝 ²・井上豪 ^{1,2}・大久保敬 ^{2,3}・浅原時泰 ^{1,2}
- 2P-10 新規な[10](1,4)ピリジノファジイニウム塩の合成とその性質
(早大院先進理工) ○金高峰士・鹿又宣弘
- 2P-11 光触媒を用いた脱二酸化硫黄を伴う環縮小反応の開発
(山口大院創成科学) ○村松憲伸・川本拓治
- 2P-12 Brønsted 酸触媒を用いたジオールの分子内脱水による環状エーテル合成法の開発
(¹ 武蔵野大薬・² 武蔵野大薬研) 牧野宏章 ^{1,2}・野上ちはる ¹・深野彩由季 ¹・末木俊輔 ^{1,2}・○穴田仁洋 ^{1,2}
- 2P-13 アミノスルホキソニウムを脱離基とするジアステレオ発散的 Gabriel-Cromwell アジリジン合成
(阪大院工) ○先森大翔・安井孝介・平野康次
- 2P-14 電気化学的な分子間環化反応を基軸とするベンゾホスホールオキシドの合成
(岡山大院自然) ○金城さくら・光藤耕一・菅誠治
- 2P-15 ピンナチン類天然物の合成研究
(長崎大医歯薬) ○川元七海・川崎則彦・小嶺敬太・福田隼・石原淳
- 2P-16 近赤外ローダミンの合成と光レドックス触媒反応への応用
(¹ 愛知学院大院薬・² 愛知学院大薬) ○山崎龍弥 ¹・坂本京花 ²・松本晃治 ²・小幡徹 ^{1,2}・神野伸一郎 ^{1,2}
- 2P-17 β,γ -多環式ブテノリドの環サイズ選択的合成法の開発
(¹ 北里大薬・² 立教大理) ○文煥喜 ¹・國府田隆司 ¹・勅使川原壮平 ¹・山中正浩 ²・長光亨 ¹・大多和正樹 ²
- 2P-18 2,6-アンヒドロピラノシドを糖供与体とするプリン塩基類のN-グリコシル化反応の検討と人工ヌクレオシド合成への展開
(¹ 名大院創薬・² COMIT) 山下榛斗 ¹・廣明秀一 ^{1,2}・○兒玉哲也 ^{1,2}
- 2P-19 リアノジン受容体活性化ピリミドインドール誘導体の合成と構造活性相関
(¹ 東京科学大生材工研・² 名市大院薬・³ 順天堂大院医) ○曾希 ^{1,2}・石田良典 ^{1,2}・呉林なごみ ³・村山尚 ³・梅澤直樹 ²・久松洋介 ²・影近弘之 ¹
- 2P-20 チェニルスルホン骨格を有する有機ビスマス化合物の合成と生物活性
(¹ 山口大院創成・² 奈良女大工) ○岡村直輝 ¹・相田義博 ¹・上條真 ¹・村藤俊宏 ¹・三方裕司 ²
- 2P-21 光駆動型不活性 C-N 結合の直接変換反応
(¹ 金沢大医薬保健・² 東大院薬) ○高木捺 ¹・楊沢堃 ²・松本晃 ¹・王超 ¹・内山真伸 ²・平野圭一 ¹
- 2P-22 Ma'edamine E および F の全合成
(上智大理工) ○山下仁士・小吉明一郎・田中尚・白杵豊展
- 2P-23 トリアゾリウム塩のヒドリド還元剤に対する特異な反応性
(千葉工大院工) ○國分嵩亮・原口亮介
- 2P-24 グリコシルイミダートと 3,4,5-トリメトキシフェノールとの反応による芳香族性が失われた C-グリ

コシドの生成

(愛知教育大教育) ○中野博文・野呂瑛希

2P-25 [2.2]パラシクロファンカルボン酸を配位子とするキラルロジウム(II)錯体の合成と利用

(名城大薬) ○野田萌遥・吉田圭佑・土山誠・北垣伸治

2P-26 [2]ロタキサンの分子内環化反応による[1]ロタキサンの不斉合成に向けた検討

(¹ 北大院薬・² 国際医療福祉大福岡薬・³ 京大院薬) ○長谷川淳 ¹・森崎一宏 ¹・川端猛夫 ^{2,3}・佐藤美洋 ¹

2P-27 ピリドアクリジン類の全合成研究

(¹ 立命館大院薬・² 立命館大薬) ○三好弘将 ¹・中谷有輝 ¹・荒木柁太 ²・古徳直之 ^{1,2}

2P-28 アザ電子環状反応を駆使した含フッ素 N ヘテロ環化合物の合成

(京工繊大院工芸) ○中村耕作・河内一真・安井基博・山田重之・今野勉

2P-29 荷電置換基が C4N4 蛍光分子に与える影響

(¹ 慶大院薬・² 微化研) ○川村剛 ¹・公平実希 ¹・熊谷直哉 ^{1,2}

2P-30 イミド置換 1,4-ナフトキノンならびにベンゾキノン誘導体の合成

(阪公大農) 内田大地・小林東生・長井理子・○谷森紳治

2P-31 マイトトキシンの ABCDEF 環部の合成研究

(九大院理) ○松下尚樹・勅使川原樹弥・布施賢志朗・鈴木悠平・保野陽子・土川博史・大石徹

2P-32 チアゾリウム型深共晶溶媒を用いたステッター反応

(¹ 大分大院理工・² 近大工・³ 大分大理工) ○竹次脩人 ¹・北岡賢 ²・信岡かおる ³

2P-33 赤色光で駆動する新規ラジカル開始剤の開発

(慶大理工) ○牛山千聖・谷川麟太郎・篠原杏・竹橋侑矢・高尾賢一・小椋章弘

2P-34 三成分系の縮合反応を利用したニトロピリジン類の合成

(高知工科大理工) ○戸島初菜・西脇永敏

2P-35 反応経路探索法を用いた不活性化アレーンの低温(3+2)付加環化反応に関する理論検討

(¹ 山口大院創成・² 千葉工大学工) ○長野彩奈 ¹・國分嵩亮 ²・山川一仁 ²・原口亮介 ²・住谷陽輔 ¹

2P-36 イミン誘導体のダブル環化反応を利用したスピロジヘテロ環構築法の開発

(神戸薬大) ○武田紀彦・齋藤大輔・松崎大力・山田孝博・上田昌史

2P-37 ニトロ基共存下での Pauson-Khand 反応によるシクロペンタピペリジン骨格の一挙構築法

(北海道科学大薬) ○金田京介・平龍希・福澤翼

2P-38 可視光を用いた N-ニトロソアミンの酸化的異性化反応による 1,2,4-オキサジアゾールの合成

(岡山大院環境生命自然) ○大西一碧・秋元秀太・山崎賢・三浦智也

2P-39 ユニークな 3 次元構造をもつ糖-アミノ酸ハイブリッド骨格の構築

(九大院薬) ○森山智也・織田旺紀・的場博亮・寄立麻琴・平井剛

2P-40 イミダゾ[1,5-a]ピリジンカルベン-金属錯体の拡張 π 共役系励起挙動に基づく触媒能の探索

(岐阜大院自然) ○西脇あい・芝原文利

2P-41 12-deoxyascididemin の全合成研究

(¹ 徳島大薬・² 徳島大院医歯薬・³ 阪大院理) ○濱田新太 ¹・佐藤亮太 ²・難波康祐 ^{2,3}

2P-42 シリルルイス酸触媒を用いた酸化的遠隔位アリール転位反応によるオキサゾリジンの合成

(千葉大院理) ○亀田紘樹・森山克彦

Session 2-3 14:05~15:25 口頭発表 座長：徳山 英利

- 20-11 朝鮮五味子由来トリテルペノイド Spiroschincarin B の合成研究：1-オキサスピロ[6.6]トリデカン骨格の構築
(¹京大院農・²同志社大学) ○鈴木哲史¹・八木田凌太郎¹・入江一浩^{1,2}・塚野千尋¹
- 20-12 クロムサレン錯体/ニトロキシラジカル触媒系によるベンゾジオキサン類の空気酸化的生合成模倣型合成
(東北大院薬) ○横田奈緒・長澤翔太・笹野裕介・岩渕好治
- 20-13 逐次光延反応によるビタミンE のモジュラー型全合成
(徳島文理大薬) ○中峯彩華・北村圭・加来裕人
- 20-14 褐藻由来 seco-ドラスタンおよびドラスタンジテルペノイド類の不斉全合成研究
(阪公大院理) ○吉野優季花・西川慶祐・鶴田智暉・森本善樹

Session 2-4 15:25~16:25 口頭発表 座長：菅 誠治

- 20-15 四官能性ジベンゾフェンジンを活用した窒素含有ケクレン環の合成研究
(阪大院工) ○小椋史也・武田洋平・南方聖司
- 20-16 ジイソシアニドの分子内環化に基づくアザヘテロ中員環連結らせん高分子の合成とキラル配座解析
(京大院工) ○良永裕佳子・杉野目道紀
- 20-17 縮環チオフェンをモノマーとした大環状分子の合成と特性評価
(¹京大院工・²金沢大 WPI-NanoLSI) ○村上敬一朗¹・大谷俊介¹・加藤研一¹・生越友樹^{1,2}

Session 2-5 16:35~17:35 口頭発表 座長：岩渕 好治

- 20-18 ベンゾシクロブテノンオキシム誘導体の環拡大反応を基盤としたインドール合成法の開発とその応用
(東北大院薬) ○菅野雄亮・山下有美・今泉拓・松尾和輝・清水瑛大・Louna Poignant・辻ななせ・岡野健太郎・坂田樹理・徳山英利
- 20-19 Calyciphylline F の全合成
(¹大阪大院理・²徳島大院薬・³徳島大院医歯薬) ○住田龍一¹・井上雅貴²・古高涼太²・佐藤亮太³・Karanjit Sangita³・難波康祐¹
- 20-20 ジアステレオ発散的 borylative Heck 反応を基軸とするテルペン類の網羅的全合成
(¹Rice Univ., Department of Chemistry・²University of Illinois Urbana-Champaign, Department of Chemistry・³慶大理工) ○藤木翔吾^{1,2,3}・Barlock Samantha^{1,2}・Landers Kayla^{1,2}・Ryffel C. Peter²・Shved Alexander²・Sarlah David^{1,2}

Session 2-6 17:35~18:35 口頭発表 座長：金井 求

- 20-21 天然毒から着想した新規抗がん活性分子を用いた生体内合成化学治療
(¹科学大物質理工・²理研) ○小林達也¹・Ambara R. Pradipta¹・張宗哲²・田中克典^{1,2}
- 20-22 π ルイス酸性金属触媒を用いたオルト-アルキニルスルフィン酸エステルの転位反応
(¹東北大院理・²東北大学高教機構) ○久保田圭亮¹・寺田眞浩¹・中村達^{1,2}
- 20-23 スチルベンカルボン酸の位置選択的ブロモラクトン化反応

(¹徳島大院薬・²徳島大薬) 菅野正幸¹・望月若菜²・藤原達也¹・猪熊翼¹・○山田健一¹

3 日 目 10 月 11 日(土)

Session 3-1 8:40~10:20 口頭発表 座長：中崎 敦夫

- 3O-01 Scandine の全合成
(名大院創薬) ○北村卓巳・森田海斗・榎窪成祥・横島聡
- 3O-02 喜界島ビスインドールアルカロイドの合成研究
(¹岡山大院医歯薬・²岡山大学術医歯薬) ○徳重慶祐¹・阿部匠²
- 3O-03 Lycopladiene H の合成研究
(¹京大院薬・²金沢大院薬) 瀧川紘^{1,2}・○楊佳明¹・萬家千穂¹・高須清誠¹
- 3O-04 クリック反応を用いたステーブル化を基盤としたペプチド性分解誘導薬の開発
(阪大産研) ○高田悠里・川浪紘明・山下泰信・伊藤幸裕・鈴木孝禎
- 3O-05 17-スルホンイミドイル-4,5-エポキシモルヒナン誘導体の合成研究
(北里大薬) ○千葉洸・水口貴章・藤井秀明

Session 3-2 10:30~12:10 口頭発表 座長：塚野 千尋

- 3O-06 砂漠を緑化し地球暖化を止め飢餓を救い緑の地球を回復する「地球の薬」ソムレの開発
(¹金沢大・²ソメイヤッコ研究所・³グローバル・マーケティング・アソシエーション(株)) ○染井正徳¹・染井秀²・染井和子²・栗野亮二³
- 3O-07 ベンジルアルコール類の直接的位位置選択的脱酸素化反応の開発
(北大院薬) ○八木聡士・森崎一宏・佐藤美洋
- 3O-08 インドール、CO₂、ジメチルフェニルシランを用いたトリス(インドリル)メタンの合成と π 拡張化合物への変換
(岡山大学院自然) ○西原蒼・Li Sha・保井伶斗・新田菜摘・高石和人・依馬正
- 3O-09 ベンゾチアゾリルスルフィドを用いた光レドックス誘導ラジカルスイッチング法の開発
(静岡大院総合科学技術) ○仙石哲也・長谷川直矢・松根康樹・菊池渚・土方陽登・柴田佳帆乃
- 3O-10 非金属触媒を用いたアルキニルスルホキシドの分子内酸素移動反応
(東農工大院工) ○岩浪悠人・坪内彰・齊藤亜紀夫

次回大会アナウンス 12:10~12:20

ポスター発表 (3P-01~42) 13:10~14:10

- 3P-01 C-N アトロプ異性 N-(2-ハロフェニル)キノリン-2-オンおよびキノリン-2-チオンの単結晶で検出されたユニークなハロゲン- π 相互作用
(芝浦工大工) ○内堀真衣・村手奈々実・坂上達紀・島佳菜子・北川理
- 3P-02 サキシトキシンの全合成研究

(北大院薬) ○佐藤広悠・島川典・長友優典

3P-03 五炭糖を原料とするピラゾール含有イミノ糖の合成

(大阪医薬大薬) ○武田里美¹・清水愛結奈¹・葉山登¹・米山弘樹¹・宇佐美吉英¹

3P-04 トリアリールホウ素触媒を用いた無溶媒条件下におけるインドール誘導体の水素化反応

(¹ 阪大院工・² 阪大 Cfi) ○谷川真一¹・星本陽一^{1,2}

3P-05 シクリトール類の合成を志向した動的不斉結晶化の開発

(¹ 慶大理工・² 慶大医) ○下谷侑大¹・大石毅²・佐藤隆章¹

3P-06 *N*-スルホニル-1,2,3-トリアゾールと 1,3-ジケトン類の反応

(¹ 神戸高専専攻科応化・² 神戸高専応化) ○神尾拓斗¹・藪内祐人¹・酒井優希²・藤本汰伽²・道平尚樹²・小泉拓也²

3P-07 Development of 2-(*N,N*-dimethylamino)quinazolines as pH sensors

(Sophia Univ., Faculty of Science and Technology) ○Mohammed Mahdaly・Takeshi Maki・Ryuji Osako・Yumiko Suzuki

3P-08 カルボン酸型深共晶溶媒を用いた高収率テトラフェニルポルフィリン合成

(¹ 近大工・² 大分大理工) ○北川佑太¹・信岡かおる²・北岡賢¹

3P-09 アセタールの電解脱保護を起点としたワンポット Wittig 型反応の開発

(¹ 富山大薬・² 岐阜薬大・³ 愛工大) ○安部佑香¹・山田強¹・谷岡卓¹・井川貴詞²・佐治木弘尚^{2,3}・松谷裕二¹

3P-10 ヘテロ環構造が分子間ハロゲン結合形成に及ぼす影響

(茨城大院理工) ○菊入優里・福元博基・盛田雅人

3P-11 求核的ヒドロホウ素化反応によるボラフェナレン類の合成

(¹ 金沢大薬・² 東大院薬) ○稲沖綾乃¹・保坂真衣¹・斎藤奈穂¹・松本晃¹・王超¹・内山真伸²・平野圭一¹

3P-12 電解および光触媒的シスオレフィン架橋カルボジカチオン生成による[4+1]環化付加反応

(東北大院理) ○横山魁星・松山秀憲・佐藤太久真・寺田眞浩・金鉄男

3P-13 13 族ルイス酸を用いた 2-アミノベンゾニトリルからのキナゾリン誘導体の合成

(東理大創域理工) ○山内柊二・石井美緒・石田健人・荻原陽平・坂井教郎

3P-14 アルカリ金属塩基触媒とクラウンエーテル類を用いたヒドロアミド化反応の開発

(近大薬) ○松岡純平・川上真奈・刀根七海・山本康友・前川智弘

3P-15 アンフィジノリド N の全合成研究

(中央大理工) ○鶴口隼翔・今村公耀・今村巧・不破春彦

3P-16 [2+2+2]環化付加反応を利用した多置換オルトベンゼンジボロン酸の合成

(京大院薬) ○BYAMBA Adiyasuren¹・湯村太一¹・南條毅¹・竹本佳司

3P-17 α -アシルアミノニトリルの分子内環化反応による 5-アミノオキサゾールの合成

(三重大院工) ○上村太一・橋本稜雅・八谷巖

3P-18 Au vs Ag 触媒:環状 α -ヒドロキシイミニウムイオンの触媒制御型ケモダイバージェント反応

(¹ 千葉工大院工・² 千葉大教育) ○吉川優翔¹・若菜倫弥¹・渡邊康平²・原口亮介¹

3P-19 C5 位に置換基を導入したシンメチリン誘導体の合成と除草活性

(¹ 明大理工・² 北興化学開発研) ○川上優¹・長谷川駈¹・植松知宏¹・平野達也²・三谷優輔²・大高聡仁²・小川熟人¹

- 3P-20 パラジウム触媒を用いた不斉 C-H 閉環反応によるキラルインドリンの合成法開発
(武庫川女大薬) ○水上玲穂・下村果鈴・阿部将大・イ ミンジ・稲本浄文
- 3P-21 3-アザシクロヘキシンとアルデヒドの位置選択的メタセシス反応の開発
(明治薬大) 鏡堅太郎・石橋奈那子・萱野綾音・大類彩・田湯正法・○齋藤望
- 3P-22 Push-pull アルケンとアレノエートのホスフィン触媒(2+3)型環化反応
(名城大薬) ○荒井歩果・吉田圭佑・内田大貴・岸本京佳・内田朱音・古池美月・北垣伸治
- 3P-23 ゲラニル型クマリン Kayeassamin A の全合成研究
(¹ 近大薬・² 近大薬総研) ○西川陽斗¹・高島克輝¹・栗原郁帆¹・寺田実央¹・石川文洋¹・森川敏生²・田邊元三^{1,2}
- 3P-24 新規含ホウ素多環芳香族炭化水素の合成と構造及び特性
(¹ 日大文理・² 北里大理) ○長瑞季¹・田内大喜²・長谷川真士²・嶋田修之¹
- 3P-25 生体寛容性ルイス酸触媒を用いた血中内分子合成
(¹ 東京科学大物質理工・² 理研) ○熊倉蓮¹・Ambara R. Pradipta¹・張宗哲²・田中克典^{1,2}
- 3P-26 アズレンが縮環したヘテロピンの合成と構造
(¹ 山口大院創成・² 奈良女子大工・³ 九大先導研) ○松永茜¹・三方裕司²・上條真¹・谷文都³・村藤俊宏¹
- 3P-27 銅触媒下でのセレン、トリアリールビスムタンを利用したピラゾロン類の C-H セレノ化反応
(愛知学院大薬) ○松村実生・中村綾華・柳田敦紀・村田裕基・安池修之
- 3P-28 環拡大を利用した 2-ピロンの構築法の開発
(岩手大理工) ○中崎敦夫・森諒真・甲地史佳
- 3P-29 ピリジニウム架橋アミノ酸 deoxyypyridinoline および同位体標識体の合成
(上智大理工) ○石井宏明・茂田亮介・臼杵豊展
- 3P-30 ピンサー型ビスイミダゾリンパラジウム触媒による新規キラルアレニルアミン合成法の開発
(¹ 名工大工・² 名大工) ○三宅航成¹・西願寺彩音¹・木村静花¹・小山田悠介¹・山崎進太郎¹・安川直樹¹・稲津佑¹・竹内一郎²・中村修一¹
- 3P-31 新規エイコサノイド HKD₂ と HKE₂ の全合成研究
(名大院生命農) ○大砂琴葉・宮坂忠親・西川俊夫
- 3P-32 キラルパラジウム錯体を触媒とする不斉共役付加反応を用いた 3,3-二置換スクシンイミド誘導体の合成と第四級不斉炭素を有するピロロ[2,1-a]イソキノリン誘導体のジアステレオ選択的合成
(山口東京理大薬) ○黒岩雄大・田村雅史
- 3P-33 トリアゾール型 NHC 配位 π-アリルパラジウム錯体の合成とそれらの触媒活性
(東電大院工) ○正木啓悟・山本哲也
- 3P-34 プレアルヌマイシン類の合成
(徳島文理大薬) ○北村圭・加来裕人
- 3P-35 マンガン錯体によるジアステレオ選択的酸素付加型ジヒドロイソオキサゾール環構築法の開発
(北里大薬) ○山本大介・松川大輔・菊地隆誠・成島悠樹・熊倉優太・牧野一石
- 3P-36 10-エピ-ギロサノライド E の全合成
(¹ 岡山大院自然科学・² 岡山大基礎研) ○金光隼也¹・田中健太²・門田功¹・高村浩由¹
- 3P-37 環状キノリン 3 量体の幾何学的スケーリングによる物理化学的特性の変化
(¹ 慶大院薬・² 微化研) ○山下舞¹・堤亮祐¹・小林透威¹・熊谷直哉^{1,2}

- 3P-38 *N*-スルホニル-1,2,3-トリアゾールを用いた 1,3-双極環化付加による新規ヘテロ環化合物の合成
(¹神戸高専専攻科応化・²神戸高専応化) ○高濱壮悟¹・倉垣真翔²・中井柚萌²・小泉拓也²
- 3P-39 シクロブタン縮環ジベンゾアゼピン誘導体の合成と動的挙動
(¹阪大薬・²阪大先端学際研・³阪大院薬・⁴阪大 CN 連携) ○喜多川珠吏¹・板橋勇輝²・井上豪^{2,3}・大久保敬^{2,4}・浅原時泰^{2,3}
- 3P-40 Teadenolの合成を指向したPd触媒を用いたビニルエポキシドのフェノールとの分子内環化反応の開発
(九工大院工) ○大野佳祐・門倉祐介・島津貴大・下岡弘和・岡内辰夫・北村充
- 3P-41 窒素原子が置換したアザアズレンの合成と性質
(神奈川工大工) ○山口淳一・池田琉希・大西裕也
- 3P-42 可視光を用いた *N*-ニトロソアミンの脱ニトロソ化反応の開発
(岡山大院環境生命自然) ○山崎賢・戸水祐毅・三浦智也

Session 3-3 14:15~15:15 口頭発表 座長：熊谷 直哉

- 3O-11 架橋キサンテン色素：特有の近赤外光物性と光レドックス触媒活性
(富山大薬) ○谷岡卓¹・松谷裕二¹
- 3O-12 ひし形大環状オリゴイミドの合成と機能開拓
(¹京大院薬・²京大 CPiER-DSR) ○村山聖¹・中寛史^{1,2}
- 3O-13 メソ位を編集したフタロシアニン類縁体の開発
(東大院薬) ○鳥海尚之¹・滝谷悠太¹・齋藤大河¹・内山真伸¹

Session 3-4 15:15~16:15 口頭発表 座長：齋藤 望

- 3O-14 アダマンタン構造を有する環境調和型新規硫化試薬の創製研究
(¹筑波大院数理物質・²筑波大理工・³筑波大睡眠研究機構(IIS)) ○小柳瑞貴¹・須貝智也^{1,2,3}・田代大樹²・中村貴志^{1,2}・百武篤也^{1,2}・杓村憲樹^{1,2,3}
- 3O-15 ホモシンナミルアルコールと各種アルデヒドによる多様なカスケード環化反応
(工学院大先進工) ○市川窓花・新宮蒼生・榎本りか・Tinatina Junior Kindala・矢野楓・坂田優希・南雲紳史
- 3O-16 イミンアニオン型 Smiles 転位によるオルトヒドロキシフェニルケチミン合成法の開発とそれを基盤とした含窒素多環芳香族化合物合成
(東農工大院工) ○神野峻輝・高須賀(川崎)智子・森啓二

Session 3-5 16:25~18:05 口頭発表 座長：不破 春彦

- 3O-17 光で駆動されるアシルシラン・ボラン・スチレンの三成分カップリング反応
(学習院大理) ○笹生夕衣・三浦有人・松田樹里・末盛和輝・石田健人・増田涼介・草間博之
- 3O-18 ジベンゾアザシクロオクチン上でのアライン種の発生と変換

(¹ 東京科学大 IIR 生材研・² 工学院大先進工) ○今水隆成 ¹・坂田優希 ^{1,2}・陌間由貴 ¹・大住実保 ¹・田口純平 ¹・細谷孝充 ¹

3O-19 共有結合性テンプレートを利用した内部官能基化オリゴフェニレンケージの合成

(東京科学大理) ○小野公輔・井澤初音・笹森史豊・後藤敬

3O-20 Batzelladine C の全合成による絶対配置の修正

(東邦大薬) ○岳天慈・日下部太一・塚本拓也・土屋翔右馬・高橋圭介・加藤恵介

3O-21 ganodilactone および関連メロテルペノイド二量体の全合成

(星薬大) ○加茂翔伍・鈴木基以・杉田和幸